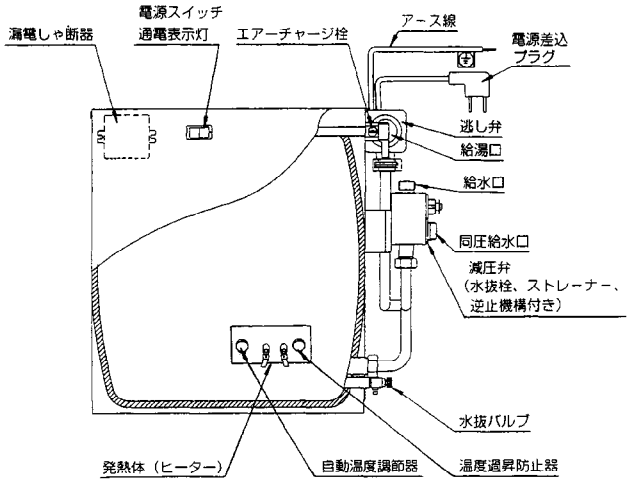
INAX

# 小型電気温水器（先止め式）

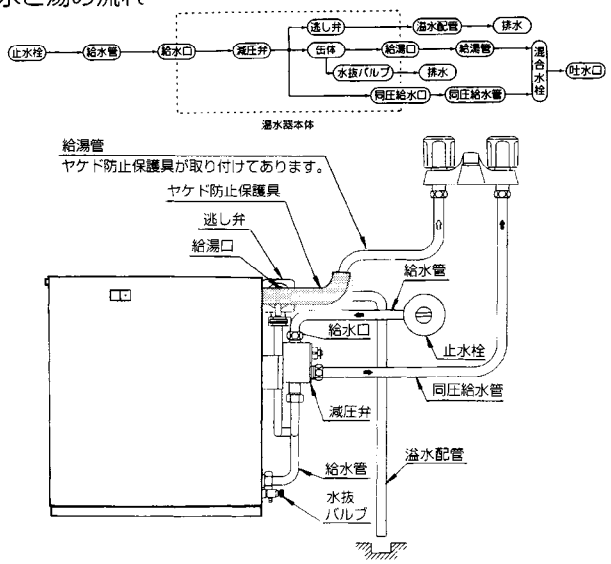
## EHP-25KR, EHP-13KR

## ■各部の名称

EHP-25KR
EHP-13KR




●水と湯の流れ




## 施工される前に

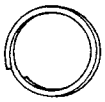
●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。

●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。

●施工段階での欠陥工事は、施工店様に対して賠償責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようご協力ください。

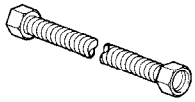
## ■付属部品

- 排水用ホース…1個



（裏面表-2の△印品番の化粧台には組付けられています。）

- ステンレスフレキ管…3本

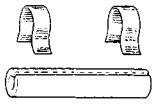


（裏面表-2の△印品番の化粧台には組付けられています。）

- 取扱説明書…1部
- 施工説明書…1部

- ニップル…2個

- やけど防止用保護具…1本
- マジックテープ……2本



〔裏面表－1、2の◎印品番の化粧台にのみ付属品として入っています。〕

## 安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

### 用語および記号の説明

警告 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ・・・「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

🚫 ・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

🚫 ・・・「分解してはいけません！」

❗ ・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

🔌 ・・・「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

⏚ ・・・「アース線を接続しなさい！」

### ⚠警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。
- 水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。
- アースが確実に取付けられていることを確認してください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※アースの取付けは、電気工事店にご相談ください。

### ⚠注意

- 上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、ショート・発火の恐れがあります。
- 太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。
※破損や漏水の恐れがあります。
- 電源プラグコンセントを差し込む時は水栓から水が出ることを確認してから差し込んでください。
※故障や発火の恐れがあります。
- タンクの水を排出する場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※故障や発火の恐れがあります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の恐れがあります。
- 交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電・ショート・発火の恐れがあります。
- 給水の接続は減圧弁を経由するように接続してください。
※圧力が高過ぎて多量の漏水の恐れがあります。
- 逃し弁からの溢水配管は、確実に排水溝まで配管施工してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

### お願い

- 電気温水器のタンクが空の場合、電源スイッチを入れないでください。
※故障の原因となります。

株式会社INAX

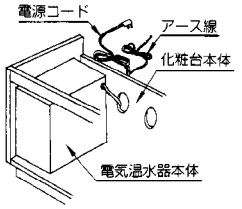
本　　社 ☎0569-35-2700
関東支社 ☎048-668-1177
関西統括支社 ☎ 06-539-3500
北海道支社 ☎011-271-1713
甲信支社 ☎0263-36-2166
中国支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-301-1701
中部統括支社 ☎052-201-1717
四国支社 ☎087-821-1701
首都圏統括支社 ☎03-5541-7111
北陸支社 ☎076-264-1710
九州支社 ☎092-282-3154

# 施工前の確認

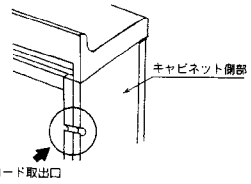
### 1.電源のコンセント及びコード線の確認

- 電気配線工事は、電気工事登録業者に依頼し、壁に電源コンセントを設けてください。
- 配線は、「電気設備基準」「内線規定」に従ってください。
- 電源は、ブレーカー（110V,15A）の設置された回路からとってください。
- 電源コンセントはAC100Vをお使いください。
- 電源コンセントは壁埋込み式アースターミナル付1口コンセント（第3種接地工事）をお使いください。
- 電源コード、アース線の取り回し方

①電源コード、アース線を、化粧台本体の背板部穴より取り出します。




②電源コード、アース線の取出溝加工を行います。

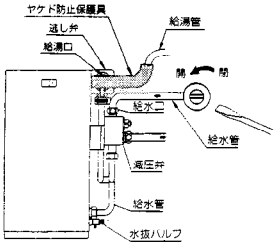



### 2.その他の確認

- 水栓の取り付けについては化粧台の施工説明書をご覧ください。
- キャビネット内に電気温水器が設置されており、正面からの水栓・電気温水器の配管工事がしづらい為キャビネットを設置する前に後部から締め付け等の工事を行ってください。

# 施工方法

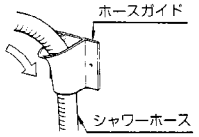
### 1.電気温水器との配管方法



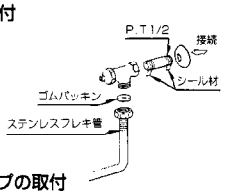

水栓と、給湯管、同圧給水管との接続は、化粧台の施工説明書をご参照ください。

### 2.水栓のシャワーホースの取付(TX, FD, HDシリーズのみ)

●水栓のシャワーホースは必ずホースガイドを通してください。

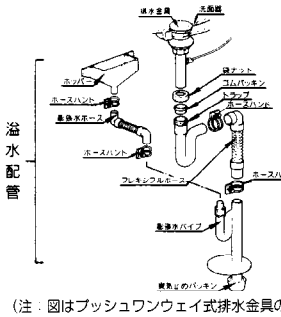



### 3.止水栓の取付




### 4.排水トラップの取付

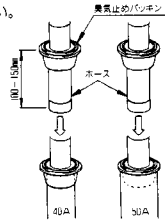
- 先止め式ですので必ず逃し弁の溢水配管をしてください。




（注：図はプッシュワンウェイ式排水金具の場合を示す。）

### 5.臭気止めパッキンの取付方法

図のようにホースに臭気止めパッキンを通し、排水管（50A、40A）に差し込んでください。




配管用ステンレスフレキ管（1/2）は、下表－1、2の寸法のものをご使用ください。

**EHP-25KR　　表－1**　（単位：mm）

| | 化粧台品番 | ステンレスフレキ管長さ | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 止水栓－電温 | 電温－金具（水） | 電温－金具（湯） |
| | SDN-750E25型 | 450 | 500 | 500 |
| ◎ | SDN-755E25型 | 500 | 100 | 100 |
| ◎ | SDN-755SE25型 | 500 | 100 | 100 |
| | SDN-757TE25型 | 500 | 650 | 500 |
| ◎ | TXN-757TE25型 | 600 | 150 | 100 |
| ◎ | TXN-755SE25型 | 600 | 100 | 100 |
| ◎ | TXN-907TE25型 | 700 | 150 | 100 |
| ◎ | TXN-905SE25型 | 700 | 100 | 100 |
| ◎ | FDN-755SE25型 | 500 | 300 | 200 |
| ◎ | HDN-755SE25型<br>HDN-757TE25型 | 450 | 150 | 100 |

**EHP-13KR　　表－2**　（単位：mm）

| | 化粧台品番 | ステンレスフレキ管長さ | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 止水栓－電温 | 電温－金具（水） | 電温－金具（湯） |
| △ | BXH-1204E13型 | 600 | 400 | 350 |
| △ | BXH-1054E13型 | 500 | 300 | 250 |
| △ | BXH-904E13型 | 450 | 250 | 200 |
| △ | BXH-754E13型 | 350 | 150 | 100 |
| | SDN-750E13型 | 550 | 550 | 450 |
| ◎ | SDN-755E13型 | 550 | 150 | 150 |
| | SDN-600E13型 | 450 | 500 | 500 |
| ◎ | SDN-605E13型 | 500 | 100 | 100 |
| △ | PX-758型<br>PX-758S型<br>PX-758H型<br>PX-758HS型 | 400 | 600 | 500 |
| △ | FEN-750E13型<br>FEN-754E13型 | 600 | 750 | 650 |
| △ | FEN-700E13型<br>FEN-704E13型 | 550 | 700 | 600 |
| △ | FEN-600E13型<br>FEN-604E13型 | 500 | 650 | 550 |
| ◎ | HDN-755E13型 | 450 | 150 | 100 |

◎…ニップル（2個）が付属品として入っています。

△…ステンレスフレキ管（3本）と、排水ホース（1個）は本体に組付けられています。

・水栓金具に取り付ける逆流防止弁は90°以上倒さないでください。

・ステンレスフレキ管の折曲げは端から30mm以上の直線部分を残して行ってください。

・ステンレスフレキ管は直角以上折り曲げないでください。直角以上の折曲げが必要な場合はなるべく緩やかなカーブで折り曲げてください。

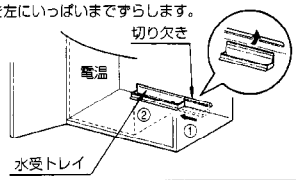
・ステンレスフレキ管と逆流防止弁のつなぎには付属のニップルを使用してください。

（SDN-757TE25型については逆流防止弁を直接、電気温水器本体の給湯口および同圧給水口に取り付けてください。またFEN-754（704、604）E13型については逆流防止弁は取付けなくても結構です。）

### 6.水受トレイの設置(TX, FD, HDシリーズのみ)

①水受トレイを切り欠きに掛けます。

②水受トレイを左にいっぱいまですらします。




# 施工後の確認

- 取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないか確認してください。
- 配管の接続部のゆるみ、ガタツキがある場合は、必ず取付け直してください。

### 1.給水方法

**⚠ 警告**

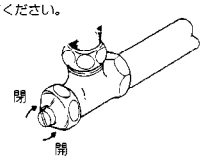
**アースが確実に取付けられているか確認してください。**
**※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。**
**※アースの取付けは、電気工事店にご相談ください。**

●通水の確認

**お願い**

**● 電気温水器のタンクが空の場合、電源スイッチを入れないでください。**
**※故障の原因となります。**

(1) 給水・給湯、排水管が確実に取り付けられていることを確認した後、止水栓を開けてください。




(2) [サーモスタット付洗髪シャワー混合水栓の場合]
- 温度調節ハンドルを低温側にします。開閉ハンドルを開け、吐水口から水が吐出することを確認した後、開閉ハンドルを閉めます。
- 温度調節ハンドルを高温側にします。開閉ハンドルを開けると吐水口から少量の水が吐出しはじめます。

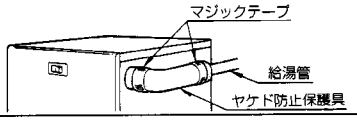
[シングルレバー混合水栓の場合]
レバーハンドルを水側（右側）に回して、開けます。吐水口から水が吐出することを確認した後、水側のレバーハンドルを閉め、湯側（左側）に回して開けます。吐水口から少量の水が吐出しはじめます。

[ツーハンドル混合水栓の場合]
混合水栓水側のハンドルを開け、水が吐出することを確認した後、水側のハンドルを閉め、湯側のハンドルを開けます。吐水口から少量の水が吐出しはじめます。

(3) 2～3分程して多量の水が吐出すればタンクは満水となります。満水を確認後、配管や、タンク内の汚れを除くためにしばらく流し洗いをしてください。(2～3分程度)
※水の出が悪い時は、電気温水器逆止減圧弁のストレーナーを掃除してください。

(4) 水栓のハンドルを閉めて水を止め、各接続部からの漏水がないことを確認します。

**ヤケド防止保護具の取付け**
- **付属のヤケド防止保護具を給湯管に合わせて位置決めし、不要な部分をカットします。**
- **ヤケド防止保護具を給湯管に取り付けます。**
- **マジックテープでしっかり止めます。**




●動作の確認

(1) 電源スイッチを「入」にします。このときスイッチのランプが点灯します。
※沸き上がりますと、スイッチのランプは消灯します。

**アドバイス**
- 水温が15℃の場合で、電源スイッチを「入」にしてから「EHP-13KR は約2時間40分」「EHP-25KR は約3時間20分」で「約77℃」に沸き上がります。

(2) 沸き上がり後、水栓のハンドルを開いてお湯が出ることを確認します。

**⚠ 注意**

**[サーモスタット付洗髪シャワー混合水栓の場合]**
- **温度調節ハンドル表示で湯温を確かめた後、吐出してください。**
  **※ヤケドをする恐れがあります。**
- **高温のお湯をお使いになった後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻し、少し流してから止めてください。**
  **※次にお使いになるとき高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。**

**[シングルレバー混合水栓の場合]**
- **レバーハンドルを水側から湯側へゆっくり操作してください。**
  **※ヤケドをする恐れがあります。**
- **高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。**
  **※次にお使いになるとき高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。**

**[ツーハンドル混合水栓の場合]**
- **水側のハンドルを開けてから湯側のハンドルを開けてください。**
  **※ヤケドをする恐れがあります。**
- **高温のお湯をお使いになった後は、湯側のハンドルを閉め、水を少し流してから止めてください。**
  **※次にお使いになるとき高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。**

### 2.ストレーナーの掃除

電気温水器の使い始めは、電気温水器本体のストレーナー部に配管工事中に混入したごみ・砂などがたまる場合がありますのでいったん電気温水器本体に通水し、取扱説明書の「給水方法」に従い水抜きを行ってください。

※ストレーナー部は、手で、もしくは少し堅いときは、スパナで外れる構造になっています。

### 3.凍結防止

(1) 電気温水器は、電源スイッチを「入」のままにしておくようご説明ください。

(2) 室温が0℃以下になる所での施工では必ず給湯管、給水管、減圧弁、逃し弁に凍結防止工事（市販品の凍結防止ヒーターによる）を行ってください。

(3) 逃し弁の溢水管には、必ず途中にホッパーを設けてください。

(4) 長期間使用しない場合は、電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜き、タンク内の水を排出するようご説明ください。